

# 競技注意事項

## 1. 規則

本大会は2019年（公財）日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもと競技を運営します。

## 2. 練習

- ①本競技場での練習は8：10～8：40までとし、それ以降は補助競技場を使用すること。
- ②跳躍競技、投擲競技の練習は競技開始30分前から、競技役員の指示により行うこととする。
- ③練習は競技役員、アナウンスの指示に従い危険防止に注意すること。

## 3. 受付

- ・本部前の受け付け場所で、クラブ・学校単位で責任者が午前8時00分～9時00分までに一括して受付してください。
- ・ナンバーカードは一括して渡します。競技終了後は番号順に封筒に入れて一括して返却してください。紛失、破損等の場合は弁償して頂きます。安全ピンはチームで用意してください。

## 4. 招集

### (1) 招集場所

- ①招集場所は100mのスタート地点のスタンド下に設けます。
- ②出場者は自分の出場する種目ごとに招集所で自分の名前をチェックし、その後は競技役員の案内に従って待機してください。  
☆招集に遅れた者は棄権とみなし、競技には出場できません。

### (2) 招集時間

- ①競技開始予定時刻の40分前から、トラック競技は20分前、フィールド競技は30分前までに済ませて遅れないようにしてください。

### (3) ナンバーカード等

- ①ナンバーカードは、胸につけてください。
- ②トラック競技はレーンナンバーカードを腰部分の右側に付けてください。  
☆レーンナンバーカード及び安全ピンはレース終了後直ちに返却してください。

- (4) リレー競技に出場するチームはオーダー用紙を、競技開始予定時刻の2時間前から1時間前までに招集所に提出してください。オーダー用紙は招集所にあります。

## 5. 競技方法

- ①スタート合図は英語アナウンスでおこないます（位置について=On your mark、よい=set）
- ②トラック競技の計時は写真判定で行います。
- ③800m以上はオープンレーンによるスタンディングスタートとし、それ以外のトラック競技のスタートはクラウチングスタートとしますが、希望する選手はスタンディングでのスタートを認めます。また、80m（3年）はスタンディングスタートとし、スターティングブロックは使用しません。
- ④80mハードルは小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行います。
  - ・スタートから第1ハードルまで13m00・高さ70cm・ハードル9台・インターバルは7m・最終ハードルからフィニッシュまで11m☆不正出発は同じ選手が2回行った場合失格とし、失格者はオープン扱いとします。  
失格（フライング失格含む）の場合正式記録は掲示しませんが、参考記録として本部にて確認することができます。
- ⑤希望する者はスパイクの使用を認めます。ただし、素足は禁止します。
- ⑥走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技とします。ジャベリックボール投の助走は15m以内とします。

⑦走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びで行います。

練習の高さは90cm、試技90cmから、1m35までは5cmごとにバーを上げ、それ以降は3cm刻みで上げます。

⑧リレー競技のバトンゾーンは30mです。

## 6. その他

①プログラムに誤りがある場合は、本部庶務まで速やかに連絡してください。

②競技会で発生した傷害については主催者側で応急措置をしますが、保険加入等各自で事故に対しての対策を万全にして参加してください。

③氏名・学年・所属の情報はプログラム掲載、競技場でのアナウンス、記録掲示（ホームページへの掲載、報告資料への掲載を含む）以外は使用しません。

④記録証は競技出場者に渡します。チーム責任者が清書してください。

⑤付き添い者、応援者は正面スタンド及び芝生席を使用してください。正面スタンドでのテントの張り出し、及び最前列への横断幕等の張り出しは禁止します。

⑥競技場内への立ち入りは指定区域を除き禁止です。競技役員の指示に従ってください。

⑦競技終了後は清掃をしてください。ゴミは全て持ち帰ってください。

⑧貴重品は各自で保管し、紛失・盗難には十分注意してください。